

## 令和6年9月3日 令和6年度第2回県立学校長会 大石教育長挨拶

台風10号の影響はいかがでしたか。何かありましたら担当課までお願いします。

夏期休業中、インターハイと全国高総文祭の総合開会式といくつかの種目、部門の生徒の激励に行ってきました。運動部も文化部も、生徒の一生懸命な姿に心を動かされました。また、8月21日には高校生議会があり、みなさん立派で、質問のレベルの高さには知事も驚かされていました。表敬訪問や特別支援学校のアート展など、子どもたちは本当に素敵ですね。御指導いただきました先生方に、お礼を申し上げます。

夏期休業も明け、通勤電車も満員になりましたが、9月とは思えない暑い日が続いています。生徒、先生方の健康管理に御配慮ください。

7月の終わりに「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果が発表され、先週、市町村教育長に向けた説明会がありました。小学校6年生と中学校3年生の調査ですので関係ないと思わないでください。中3生は半年後には高校に入ってきます。私は学校教育課長の時から、学力状況調査はその結果を受けて、それぞれの子どもに対して個別の指導で不十分なところを卒業までに補うことが肝心だと考えており、何人かがもう1問正答すれば変わるような正答率の順位よりも、学習状況調査、質問紙の回答状況に関心があります。特に「学校に行くのは楽しいと思う」という質問に対して否定的な回答をした児童・生徒が十数パーセント存在し、これは学校に来られない生徒は入っていませんので、学校は「楽しい」と思っていない子どもがそういった割合で存在することが気掛かりです。説明会では、大事なサインと受け止めて、子どもたちの様子を見てほしいとお伝えしたところです。

「学校に行くのは楽しいと思うか」は学校適応に関する質問であり、関連する質問、いくつか例を挙げると「先生はあなたのよいところを認めてくれている」「先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」などの質問で肯定的な回答をした児童・生徒が、学校に行くのは楽しいと思っているようです。

では、どんな学校が楽しい学校なのか。認めてもらえる、否定されない学校、以前にも申し上げましたが、子どもたちの裁量が認められる機会がある学校だと私は思っています。裁量を与えられない場所が子どもをどう変えるか。ミヒャエル・エンデの児童書『モモ』は、時間泥棒が人々から時間を盗み、大人は齷齪働くばかりで余裕を失っていくという話ですが、大人たちにかまってもらえなくなった子どもは行き場をなくし、そんな子どもたちを収容して「道徳的」にし、「将来役に立つ人材」にするという施設「子どもの家」が設置されます。そして、そこに入った子どもたちの変化は次のように描かれます。「次第次第に子どもたちは、小さな時間貯蓄家といった顔つきになってきました。やれと命じられたことを、いやいやながら、面白くもなさそうに、ふくれっ面でやります。そして自分たちの好きなようにしていいと言われると、こんどはなにをしたらいいか、全然分からないのです」。学校がこうはならないようにしたいと強く思います。

教育基本法に規定されている教育の目標の一つに「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う」とありますが、是非、それぞれの学校で、生徒に裁量を与え、自分であるいは自分たちで考え、決めるような経験を積ませてやっていただきたいと思います。教育は字のとおり教えるだけでなく育てるもの、育てるというより育つように仕向けることが肝要です。教えて委ねる、任せて見守る。教員にとっては我慢の時間も多いいと思いますが、よろしくお願いします。

また、自己有用感に関する質問で、学校が楽しいと答えた子とそうでない子で最も大きく差が出たのが「幸せな気持ちになることがある」というものです。「幸せ」は人によって異なる概念ですし、「幸せになれ」と言ってそうなるものでもないので、教育の場では何かの副産物と言えるかもしれません。心理学者の河合隼雄先生は、幸福感は「将来に対して希望が保てること」「自分を超越る存在とつながり支えられていると感じること」が大事な要素だと言っています。「自分を超越る存在」とは、自分の所属するコミュニティのこのことです。

今年、東京ディズニーランドに新たなエリアができたそうですが、ウォルト・ディズニーが23歳の時、ディズニーランドの建設を決意したその目的は”Happiest place in the world”を作ることだったそうです。その実現のために彼は何をしたか。あえてトイレを分かりにくい場所にしたり、自動販売機や標識を極力少なくしたりしたのだそうです。その上で、清掃スタッフ、キャストと呼ぶそうですが、キャストを必要以上に多く配置し、ゲストがキャストに自然と場所を尋ねるよう仕向けたのだそうです。ゲストが場所を尋ねキャストが答えると、ゲストからキャストに「ありがとう」の一言が生まれる。ディズニーの狙いはこれなのです。キャストからゲストへの「ありがとう」は当然ですが、逆は少ない。ゲストとキャストが相互に感謝し合い、どちらも笑顔になれる空間こそが”Happiest place”だと考え、それが自然に発生する仕掛けを園内に施したというのです。

ディズニーランドは、私は学生の頃に行ったきりで、秘書が好きなので、本当にトイレが分かりにくいかどうか聞いてみたのですが、「私は詳しいので、どこにトイレがあるか全部分かっています」とのことでした。

何もかも便利になった時代、子ども同士、子どもと先生などの間に多くのやりとりがある、ということは大切になると思います。東京の出張で思いましたが、今は目的地まで無言で行って帰れます。私が子どもの頃は切符を買うにしても行き先と枚数を言い、鋏を入れてもらい、子どもだけなら駅員から「僕、どうしたの」と声を掛けられました。思い返せば様々なこと、買い物はもちろん、銀行の預け入れなども無言で、詐欺が入り込む隙を与えてしまっているのかもしれない。便利なようで大切なものが損なわれている。学校のICT環境は整ってきましたが、端末が学びを個人の中に閉じ込めるのではなく、コミュニケーションツールとしてさらに活発なやりとりを誘発するようにしなければならないと思います。

子どもたちが一日のほとんどを過ごす学校が”Happiest place”とまでいなくてもハッピーな場所、生き生きと過ごし、より良い学びを実現できる場所になり、一人一人の成長や幸福感が実感できるような場所となるよう、考えてまいりましょう。

先生方にお願いがあります。先般、県の PTA 協議会のリクエストにお応えする形で高校の説明会があり、大変お世話をおかけしました。限られた時間で各学校の魅力をお伝えすることは困難であり、やはり中学生が関心のある高校の情報に日常的にアクセスできるよう、各学校のホームページの充実をお願いしたいと思います。中学生が知りたいのは、学習の内容や特徴もさることながら、部活動や行事など普段の高校生活に関するものではないでしょうか。新鮮な情報を日常的に見られるようにしていただきたいと思います。

私自身も各学校のお取組や魅力を知るために、年度内にお邪魔したいと考えています。すでにお邪魔したところを除き、高校から日程調整を行い、特別支援学校にも参りたいと考えています。各学校の課題とそれにどのようにお取り組みいただいているかお聞かせいただき、できれば特色のある授業や施設も拝見できればと思っています。改めてご準備いただくことはありませんので、よろしく申し上げます。

次に防災関係です。令和6年8月8日に発生した、宮崎県日向灘を震源とするマグニチュード 7.1 の地震により、同日気象庁が南海トラフ地震臨時情報を初めて発表して緊張が走りました。南海トラフ巨大地震の発生への警戒が高まる中、通知もさせていただきましたが、各学校においても緊急連絡体制や参集体制の確認及び全職員への周知を図るとともに、学校の実態に応じて地域の防災部局と協議し、避難所開設に向けた初動体制の確保等に努めていただくようお願いいたします。

次に教職員による児童生徒性暴力についてです。全国的にもこのような事件が後を絶たないのは許せません。これには児童生徒との SNS での私的なやりとりが大きく関わっているようです。綱紀の粛正でもお知らせしていますが、SNS での生徒との私的なやりとりは原則禁止です。このことを徹底し、教職員による児童生徒性暴力の根絶をお願いします。体罰や不適切な指導も同様です。生徒指導は根底に赦しをしなければ指導ではありませんし、生徒への寄り添いが重要ですが、この姿勢が不十分で丁寧さを欠く指導により、生徒や保護者の不信感を生み、トラブルに発展しているケースがあります。今一度、令和4年度に改定された「生徒指導提要」の内容について周知徹底をお願いします。

また、管理職選考試験については要項をすでにお示ししていますので、候補となる先生方の背中を押してください。教員は生徒と関わるのが幸せですから、その機会が少なくなる管理職になりたがらない人もいらっしゃると思います。しかし、学校がよくなるため、結果生徒のために必要な組織上の役割であり、やりがいもありますので、各校の先生方に是非お話しください。

以上、多くのことを申し上げましたが、長期休業明けは子どもたちの心身の状況や行動に変化が現れやすい時期です。各学校において教職員等が連携・協力し、子どもたちの様子を

よく見ていただき、積極的な声かけをお願いします。また、先生方についても同様です。管理職の先生方はお忙しいと思いますが、先生方の様子を見ていただき、日々のコミュニケーションによるケアをお願いします。もちろん、管理職の先生方ご自身のケアもお願いします。校長先生方のお取組に対し、県教委としても積極的に支援しますので、2学期もよろしくをお願いします。